



各 位

2024 年4月 19 日

## 『観る』から『食べる』時代へ！ 農林水産省も注目！食用サボテンはじめました

綿半トレーディング株式会社(東京都新宿区 代表取締役社長:有賀 博)は、農林水産省が推進するオープンイノベーションの取り組みである「『知』の集積と活用の中産学官連携協議会」に参画し、世界が注目しているサボテンの普及活動に取り組んでおります。

食用サボテン、  
はじめました

地球の未来を救う食用サボテン  
サボテンが地球の未来を救う可能性を秘めていることをご存じでしょうか？

気候変動や人口増加への対応が喫緊の課題である現在において、驚異的な生命力をもつサボテンは新しい作物として世界で注目を集めており、食品・家畜飼料・加工品原料として30カ国以上で栽培されています。また2017年には、国連食糧農業機関が「食用サボテンは世界の食料危機の大部分を救う答えになり得る」との見解を表明しています。

サボテンには用途の広さ、栽培の容易さ、豊富な栄養等たくさんの特徴がありますが、まだまだ未知の可能性を秘めています。本プラットフォームは、サボテンの潜在能力を科学的に解明し、研究成果と開発した製品を社会に実装していくことで、日本の農業・食品産業の活性化や環境問題の解決に貢献することを目指しています。

Wingline, P et al., (2017). Crop ecology, cultivation and uses of cactus pear. FAO.

サボテン等多肉植物の潜在能力発掘と  
活用推進プラットフォーム

『知』の集積と活用の中  
産学官連携協議会

農林水産省

農林水産省作成 (無断転載・加工禁止)

※画像の使用はご遠慮ください。

## 実はすごい！サボテンの有用性

サボテンは、アステカ文明の時代から主に中南米で食べられており、現在国連食糧農業機関(FAO)も次世代の作物として注目しています。

綿半トレーディングは、中部大学(愛知県春日井市)とコンソーシアムを結成し、食用サボテンの農業シーズとしての価値を科学的に評価し、社会実装に向けた基盤構築と社会的認知の向上を目指しています。農林水産省もサボテンに対する期待値は高く、サボテン普及を促進するため、上のポスターを作成しました。

## 茎だけじゃない、ウチワサボテンは実も使えるんです

綿半トレーディングでは、オープンイノベーションへの取り組みの他、ウチワサボテン果実製品の販売も行っており、鮮やかな赤紫色の色味とベリー系の風味が注目を集めております。ウチワサボテン果実はレッドビートと同じ天然の赤紫色素『ベタレイン』を含んでおり、着色料なしで綺麗な赤色やピンク色の色味を出すことができます。

詳細は下記 URL よりお気軽にサンプル提供等お問合せください。  
原料サイト TR Organic Materials: <https://tr.organic-materials.com/>



### 【本件に関するお問合せ】

○綿半トレーディング株式会社 企画営業部

住所 東京都新宿四谷1-4 綿半野原ビル TEL 03-3353-2303 MAIL [chem@watahan.co.jp](mailto:chem@watahan.co.jp)

### 【IRに関するお問合せ】

○綿半ホールディングス株式会社 広報室

住所 長野県飯田市北方1023-1 TEL 0265-25-8155 MAIL [ir@watahan.co.jp](mailto:ir@watahan.co.jp)